

令和4年第4回

遠軽町議会定例会会議録（第2号）

令和4年6月17日（金）午前10時00分開議

◎本日の会議に付議した事件

会議録署名議員の指名について

日程第19

一般質問

◎出席議員（16名）

議長	16番	杉本信一君	15番	竹中裕志君
	1番	白幡隆一君	2番	秋元直樹君
	3番	黒坂貴行君	4番	阿部君枝君
	5番	渡部正騎君	6番	戸松恵子君
	7番	山本悟君	8番	佐藤昇君
	9番	佐藤登君	10番	山谷敬二君
	11番	前島英樹君	12番	佐藤和徳君
	13番	渡辺清夏君	14番	今村則康君

◎欠席議員（0名）

◎列席者

町長	佐々木修一君	教育長	河原英男君
代表監査委員	村瀬光明君		

◎説明員

副町長	舟木淳次君	総務部長	鈴木浩君
民生部長	堀嶋英俊君	経済部長	澤口浩幸君
経済部技監	内野清一君	総務課長	堂前政好君
情報管財課長	吉岡秀利君	企画課長	中原誉君
財政課長	今井昌幸君	滞納対策室参事	二瓶雄介君
保健福祉課長	岩井誠志君	住民生活課長	古賀伸次君

子育て支援課長	太田貴幸君	農政林務課長	広瀬淳次君
商工観光課長	長原裕一君	建設課長	井上隆広君
水道課長	大川寿雄君	生田原総合支所長	今泉郁夫君
生田原総合支所参事	大泉勝義君	丸瀬布総合支所長	加藤政勝君
丸瀬布総合支所参事	倉内健一君	白滝総合支所長	村上裕和君
会計管理者	奥山隆男君	保健福祉課主幹	大柳京美君
教育部長	佐藤祐治君	総務課長	西聡君
社会教育課長	水野徹君	図書館長	阿部文明君
学校給食センター所長	小玉美紀子君	監査委員事務局長	成中克也君
選挙管理委員会事務局長	堂前政好君	農業委員会事務局長	広瀬淳次君

◎議会事務局職員出席者

事務局長	小野寺正彦君	事務局参事	成中克也君
事務局係長	田中郁美君		

◎開議宣告

○議長（杉本信一君） ただいまの出席議員は16人であります。
定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

◎会議録署名議員の指名について

○議長（杉本信一君） 本日の会議録署名議員には、会議規則125条の規定により、阿部議員、12番佐藤議員を指名します。

◎日程第19 一般質問

○議長（杉本信一君） 日程第19 一般質問を行います。
一般質問は、再質問より質問者の質問時間を30分以内として、一問一答により行います。

通告の順により発言を許します。

通告1番、戸松議員。

○6番（戸松恵子君） ー登壇ー

私は、質問通告書に従って質問いたします。

加齢による難聴者にも補聴器購入の助成制度を。

加齢に伴う難聴は65歳以上で急増するという調査結果があります。耳が聞こえにくい、聞こえないことによって会話そのものに消極的になり、社会的孤立や鬱状態になり、他者との関わりが薄れ、認知症が増えたり進んだりする可能性がある、という研究報告も出ています。

ヨーロッパの国々では治療の一環として公的補助が適応になっており、使用率は30～40%台ですが、日本では身体障害者手帳の交付を受けた高度難聴者のみに限定されているため、使用率は13.5%と低い水準となっています。

遠軽町内で補聴器を扱っているお店に行って聞いてきましたが、購入した方の約9割が全額自費で購入しているそうです。

補聴器は管理医療機器であり、非常に高額です。特にお年寄りは年金生活ですから、高額なので購入できない、購入をためらっている、我慢している、という人の声を多く聞いています。

本来は国が補聴器購入への公的補助をすべきだとは思いますが、近年独自に購入費の一部を助成したり、現物支給する自治体が増えていますが、遠軽町として助成制度を実施する予定はありますか。

○議長（杉本信一君） 佐々木町長。

○町長（佐々木修一君） ー登壇ー

戸松議員の加齢に加齢による難聴者にも補聴器購入の補助制度を、との御質問にお答えいたします。

聴力障害のある方が補聴器を求めるとき、聴覚障害6級以上の身体障害者手帳をお持ちの方は、障害者総合支援法に基づく補聴器の助成制度が、また、本町では手帳の交付とならない軽度・中度難聴児に対しては、北海道の交付金を活用し、難聴児の日常生活における言語習得や、意思伝達能力及びコミュニケーション能力等の向上を促進するため、補聴器の購入に対し助成をしております。

議員御質問の、町として助成制度を実施する予定はあるかについてであります。議員の通告書にもあるとおり、本来は国が補聴器購入への公的補助をすべきだと考えております。

今後、国において、さらに補聴器の使用に伴う効果が精査され、国が助成制度を創設するなど、国の動向を踏まえて、本町として対応を検討していくべきと考えております。

以上です。

○議長（杉本信一君） 戸松議員。

○6番（戸松恵子君） 今、私も63歳なのですけれども、小さい声の人の会話は聞きづらいなというときが、実はよくあります。私の周りでも補聴器をつけている人が結構たくさんいます。年齢を重ねていきますと、耳が聞こえなくなるということは誰にでも起こると思います。

そこで、遠軽町として、加齢性難聴の人の実態をもう少し詳しく把握する必要があるのではないかと考えていますが、どうでしょうか。

○議長（杉本信一君） 岩井保健福祉課長。

○保健福祉課長（岩井誠志君） ただいまの戸松議員の質問にお答えします。

本町では、先ほど町長の答えにもありましたが、窓口の相談で対応した場合につきましては、身体障害者手帳になった場合、その手帳を取得することにより、先ほど説明いたしました補装具として支給を受けることができる場合があると、その都度説明しております。

現在、加齢性の伴う高齢者の生活、高齢者の難聴者の把握につきましては、現時点では、先ほどの町長の答えにもあったとおり、国の動きを見ながら行う考えでありますので、聴力障害に特化して実態を把握する調査を行うなどの考えは、現時点では持っておりません。

以上です。

○議長（杉本信一君） 戸松議員。

○6番（戸松恵子君） 町で行う健康診断とか、あとアンケート調査でもいいのですけれども、ぜひ町として困っている人とか、我慢している人の実態というのは是非つかんでほしいなと思います。

先ほど言いました、町内で補聴器を扱っているお店で聞いた際なのですけれども、一番

安いポケット型のもので4万円ぐらいから、精密な耳穴型というのですか、耳の穴に入れるのは60万円ぐらい、高いものはするということなのです。とても簡単に買えるような金額ではないので、でも、あることでも助かるものなのですよ。

北海道内では、加齢性難聴への補聴器助成が現在12市町村で実施されていて、検討中の所もあります。さらに、先ほどお話があったように、補聴器助成の国への意見書を採択した自治体も増えています。

お年寄りに優しいまちづくりの、住みよいまちづくりのためにも、是非、遠軽町でも今後検討していただきたいと思いますが、どうでしょうか。

○議長（杉本信一君） 岩井保健福祉課長。

○保健福祉課長（岩井誠志君） ただいまの御質問にお答えいたします。

まず、町としての実態把握の方法で、健康診査のことを発言されましたが、町で実施している特定検診や後期高齢者検診につきましては、生活習慣病の予防と早期発見を目的としているため、現時点では目的に沿わない聴力検査を新たに検診項目に加える考えはございません。

また、アンケートについてですけれども、先ほど、聴力障害に特化したアンケートについては実施する考えはないと発言しました。その考えに変わりはないのですけれども、町では介護保健事業計画を作る際に、介護予防日常生活圏域ニーズ調査をその都度実施しております。先ほどから答えているとおり、国のほうでそのような項目の中に加えるなどの指針や方針が示されることがあれば、その時点で加える加えないなどの判断を考えていきたいと思っています。

以上です。

○議長（杉本信一君） 以上で、戸松議員の質問を終わります。

通告2番、阿部議員。

○4番（阿部君枝君） ー登壇ー

通告書に従いまして、次の点について質問いたします。

1点目は、遺族の行政等の手続きについて。

死亡届の提出や年金の停止、福祉サービスの手続きや名義変更、戸籍謄抄本の取得など、家族が亡くなったときに町役場で行う手続きは多岐にわたります。

それらの作業をワンストップで受け付けてくれる「おくやみ窓口」や「御遺族支援コーナー」を設置する地方自治体が増加しております。

死亡届提出後、行政等の手続きについて遺族の負担を軽減するため、それらの手続きを分かりやすく御案内するとともに、手助けする窓口の必要性があると考えます。

本町の手続きの現状と、専用窓口を設置する考えがあるか、お伺いいたします。

2点目は、带状疱疹のワクチン接種に係る費用負担の軽減について。

带状疱疹については、前回3月にも質問いたしましたが、引き続きさせていただきます。

新型コロナウイルス感染が蔓延する中で、带状疱疹を発症する高齢者が急増しています。

带状疱疹は、多くの場合、皮膚症状が治ると痛みも消えますが、神経の損傷によってその後も痛みが続くことがあり、これは带状疱疹後神経痛、PHNと呼ばれ、最も頻度の高い合併症です。

また、带状疱疹が現れる部位によって、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などの合併症を引き起こすことがあります。加齢、疲労、ストレスなどによる免疫力の低下が発症の原因となることがあります。また、糖尿病やがんなどの免疫力が低下する病気が原因になることもあります。

带状疱疹の発症に対して、50歳以上の方はワクチン接種で予防することができます。ワクチンには、不活化ワクチンと生ワクチンがあります。生ワクチンは、病原体となるウイルスや細菌の毒性を弱めて製造されています。不活化ワクチンは、病原体となるウイルスや細菌の感染力を失活、もしくは病原体を構成する物質を元にして製造されています。

带状疱疹の予防接種は、生ワクチン約7,000円、不活化ワクチンは約4万円で、既に3,000円から1万円程度の助成をしている自治体もあります。

そこで、一定年齢層を対象に、本町でも带状疱疹ワクチンへの助成を進めるべきと考えますので、見解を伺います。

次に3点目、物価高騰等による学校給食の状況について。

新型コロナウイルスの感染症の長期化、並びにウクライナ危機による物価高騰の影響が、学校給食の値上げにつながると懸念されています。原材料価格や光熱費の高騰により、食材費が値上げする中で、保護者の負担を増やすことなく、これまでどおりの栄養のバランスや量を保った学校給食を子どもたちに届けるよう努めるべきと考えます。

そこで、学校給食の食材調達の現状と予算のバランス等を含めた今後の見通しについて、お伺いいたします。

以上です。

○議長（杉本信一君） 佐々木町長。

○町長（佐々木修一君） —登壇—

阿部議員の1点目の遺族の行政等の手続きについての御質問にお答えいたします。

初めに、質問の窓口の現状についてでございますが、遺族から死亡診断書に基づいて死亡届が住民生活課に提出されます。窓口では、火葬許可書が発行されます。同時に、住民基本台帳、戸籍、印鑑登録、マイナンバーカードについても確認、整理を行い、手続きに係る資料として、死亡届以外の届出一覧、各種のいろいろな届出でございますけれども、それを御遺族に配布し、必要な手続きについて職員が説明をしているところであります。

住民生活課内であれば、国民年金、国民健康保険、後期高齢者医療保険、乳幼児医療、重度心身障害者医療、ひとり親家庭医療について御案内をいたします。お子様がいる場合とかは子育て支援課へ、介護保険被保険者証や障害者手帳をお持ちの方は保健福祉課へ、

水道公営住宅、原動機付自転車、農地や森林の所有者などは、それぞれの担当課へ御案内をしております。

次に、専用窓口を設置する考えがあるかについてでございますが、高齢化の進展に伴い、死亡に関する手続が今後さらに増えるものと判断をしておりますが、専用窓口を設置する際には、組織機構の見直しや、行政手続のオンライン化、人材育成など、多岐にわたり検討する必要があると認識していることから、町民のニーズに合った、便利で利用しやすい窓口機能の調査研究を開始したところでございます。

また、本庁舎は狭隘のため全職員が入ることができず、保健福祉課及び教育委員会が別庁舎で事務を行っているところであります。現段階において、専用窓口を設置することは物理的にも困難な状況にあります。

今後、先進事例の情報収集や、北見市などの特徴ある窓口サービスを行っている自治体の視察を予定しているところでありまして、遠軽町として最適な窓口サービスを検討してまいりたいと考えているところでございます。

次に、2点目の帯状疱疹のワクチン接種に係る費用負担の軽減についての御質問にお答えいたします。

予防接種費用助成は、感染症が流行したことによって町民の健康が脅かされるおそれがある場合、ワクチン接種の効果が明確で集団感染予防に有効であることなどを考慮した上で実施の可否を判断することが重要であるため、新たな予防接種助成については定期接種のみ行っております。

90%以上の方が感染しているといわれる帯状疱疹の発症及び重症化を予防する帯状疱疹ワクチンは、効果の持続性や発症頻度などから、導入に最適な対象年齢と期待される効果、安全性などの議論が厚生労働省の審議会において慎重に行われ、定期接種に位置づけることの是非について整理が進められております。

帯状疱疹ワクチンの助成については、こうした国の動向を踏まえて、本町として対応を検討していくべきものと考えております。

以上でございます。

○議長（杉本信一君） 河原教育長。

○教育長（河原英男君） ー登壇ー

阿部議員の3点目の物価高騰等による学校給食の状況についての御質問にお答えいたします。

新型コロナウイルス感染症の長期化や、ロシアによるウクライナ侵攻などを起因とした物価高騰は、本町の学校給食の食材調達にも少なからず影響を及ぼしております。

例を挙げますと、小学校の1食当たりのパンなどの主食費では前年比で約4.3%、牛乳費では同じく約2.0%上昇しており、今後ますます食材価格の高騰が続きますと、予算不足が懸念されるところであります。

教育委員会といたしましては、メニューの工夫や財源を確保しながら、これまでどおり

の栄養のバランスや量を保つとともに、安全・安心な学校給食を提供できるよう努めてまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（杉本信一君） 阿部議員。

○4番（阿部君枝君） 1点目の窓口の設置についての答弁いただきました。

各課を回らなくても職員が出向いてくださっているように聞いていたのですが、つなげていると、お聞き今しましたのですが、この担当する窓口が複数につながることで、遺族の、その都度移動する必要があったと聞いておりました。70代の方なのですが、訪問したときにも、上には行かなければいけない、あちらには行かなければいけないという、非常に多岐にわたったとお聞きして、何とかならないものかと言われておりました。それで、専門コーナーというのを設置してはどうかということでしたが、町長の答弁の中に、今後いろいろな、北見市の先進的なシステム等を取り入れていくということですので、是非それをやっていただきたいなと思います。

そのことも今回書いてきたのですが、近い将来、役場でもデジタルの手続が浸透して、業務の効率化を実現する町民サービスが行われると考えられます。このような形ではあるのですが、今現在、そのものが出来上がるまで、こういうお悔やみに対する、一覧表はあるとはおっしゃったのですが、このようなものが必要ですとか、具体的にそこへ来られる方、手続できる方を具体的に書いたお悔やみハンドブックというのが結構、各町村で出来上がっているように聞いています。遠軽町としても、デジタル化が進んだとしても、これはあっていいのではないかなと思うのですが、是非それを実現させていただきたいと町長に御質問します。

○議長（杉本信一君） 堂前総務課長。

○総務課長（堂前政好君） お答えさせていただきます。

先ほど、町長が北見市のシステムを導入していくというような答弁をしたようなことで、阿部議員からシステムの導入があるというような御質問があったと思います。このシステムの導入に関しましては、今後検討していくということで御理解を賜りたいと思います。

お悔やみのハンドブックの作成に関しましては、今現在、町では死亡届以外の届出一覧、こちらを作成しております。今後、庁舎内で検討組織を立ち上げておりますので、この死亡届以外の届出一覧、これをさらに発展していくような形で検討していきたいと、そのように考えております。

○議長（杉本信一君） 阿部議員。

○4番（阿部君枝君） 今おっしゃっていただいたように、私も他の地域のあるのですが、本当に詳しく丁寧にされております。やはり、町で手続する項目って相当数あるのですね。それ以外にも遺族の方というのはいろいろな手続もあるので、せめて町の窓口に来たときには、こういうことを事前に分かっていた上で、説明されているとは言いまし

たけれども、そういうものを事前に知っておく、町民が全体的に知っておく必要があるのではないかなど。必ずしも、今、結構おひとり世帯が多くなって、それを今度、手続するのに非常に大変な状況かが、伺っております。ですから、当然そうなってくると委任状だとかもセットしなければいけないだろうし、そういうことを具体的にしたものと考えていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

○議長（杉本信一君） 堂前総務課長。

○総務課長（堂前政好君） この届出一覧に関しまして、今後さらに発展させていくということで、このプロジェクトチームでやっていきたいと考えておりますので、御理解賜りたいと思います。

○議長（杉本信一君） 阿部議員。

○4番（阿部君枝君） 次の、带状疱疹についてですけれども、これ先ほども、3月にも質問させていただきました。

近頃、带状疱疹ワクチンについてはテレビ放映もされ、見かけることが多くなりまして、町民の方から、ずいぶんと値段を聞けば高いのだねということで、望む声が多くなりました。

先日、もうすぐ80という方にお聞きしましたら、带状疱疹で後遺症が大変厳しく、今までできた運動ができない、立っているのも大変という状況で、ワクチンがあるとは聞いているけれども、年金暮らしで、私たちは高額で、受けることは難しい、厳しいというお話をされておりました。

今回、内閣府から、各自治体の判断により、コロナの影響により発祥する住民の負担を軽減するため、带状疱疹ワクチン接種に係る費用負担の軽減をするため、带状疱疹ワクチン接種に係る費用負担の軽減に臨時交付金を活用することは可能との見解を示されたやに聞きました。

そこで、財源の厳しい中ではありますが、これを優先順位に入れて、ワクチン接種の助成を進める考えはございませんか。

○議長（杉本信一君） 岩井保健福祉課長。

○保健福祉課長（岩井誠志君） ただいまの御質問にお答えします。

さまざまな事業を行う上で、確かに財源の確保というのは重要な要因の一つだとは考えますが、先ほど町長の答弁にもありましたとおり、予防接種の助成については、効果の持続性や安全性などが重要であり、そのため、現在、国の審議会において、医学的、科学的知見などについて整理が進められているところでありますので、繰り返しになりますけれども、本町では、国の動向を踏まえて対応を検討すべきと考えております。

以上です。

○議長（杉本信一君） 阿部議員。

○4番（阿部君枝君） 国の動向というのはもう、よく分かるのですけれども、何とか、ここで町長に最後のお話として伺いたいのですけれども、新型コロナウイルス感染症対応

地方創生臨時給付金の使途として、带状疱疹ワクチンへの助成は可能という見解も出ていますので、この際、コロナ禍の影響により発祥する町民の負担を軽減するためにも、带状疱疹発症を防ぐ意味から、一定年齢層に対して先行していただけたらと思います。

再度、質問いたします。

○議長（杉本信一君） 佐々木町長。

○町長（佐々木修一君） まず、この带状疱疹に限らず、いろいろな予防接種は、最初に私、御答弁申し上げたとおり、定期接種を基本に考えなければいけないと思います。というのは、では带状疱疹はいいけど、他のはどうなのと、いっぱいあるわけですよね。

それからもう一つは、国はそのように確かに言っているかもしれませんが、使えますよということですね。では、1回目は、仮にですよ、今、コロナの交付金を使ってやるかもしれないけれども、その次どうしますか。そういったことをやはり、我々は検討しなければならないわけです。

国のさまざまな制度はたくさんあります。その中に、地方も負担すれば事業できますよというものもありますけれども、これ全部やっていったら、どこの市町村だって破綻してしまいますよね、財政破綻。やはりそれは、自分たちがしっかりと自分の町に合ったものを考えていけばいいのだと思います。

いろいろな所で、遠軽町と違うことをやっていますけれども、遠軽町も他の町でやっていないことをやっているわけですから、そういった観点から、やはり私は施策を作りたいと考えております。

以上です。

○議長（杉本信一君） 阿部議員。

○4番（阿部君枝君） このコロナが蔓延している状況下で体力、免疫力の低下ということで、こういうことが話題になるというか、是非と思ったのですが、町長の意見を聞きましたので、次の点について質問させていただきます。

今般の食材価格の高騰は、輸入材料に頼る状況が起因すると思います。地元産の食材を採用することによって、供給の安定化が図れるとともに、地域の振興や食育の観点からも有効と考えますが、この点についての取組を伺います。

○議長（杉本信一君） 小玉学校給食センター所長。

○学校給食センター所長（小玉美紀子君） 地域の食材を活用という点の質問なのですが、現在、白滝のじゃがいもを使ったり、できる限り町内の食材を使うようには心がけているところなのですが、食材の価格であったり、そういった部分も考慮しながら、できる限り町内、できなければ管内、できなければ道内ということで食材の調達に努めているところです。

以上です。

○議長（杉本信一君） 阿部議員。

○4番（阿部君枝君） 本年4月に、内閣府より発出された文章に、令和4年度における

新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金の取扱いについての中に、物価高騰に伴う学校給食等に関する負担軽減という項目が追加されております。物価高騰による給食費値上げを抑えるため、地方創生交付金を活用できるとするものです。

本町においても活用すべきと考えますが、いかがでしょうか。

○議長（杉本信一君） 小玉学校給食センター所長。

○学校給食センター所長（小玉美紀子君） 御質問なのですが、コロナ交付金の関係で物価高騰によるというところなのですけれども、保護者負担の給食費については、上げる予定は、今のところしていません。

ただ、賄い材料費の部分で、子どもたちの栄養価を下げないように、そこの部分で、物価上昇率ということで、3.4%上げる予定でいます。

以上です。

○議長（杉本信一君） 佐藤教育部長。

○教育部長（佐藤祐治君） 今、所長から答弁させていただきましたが、補足ということでお願いしたいと思います。

現在、コロナ交付金の関係で全庁的な打ち合わせ、調整させていただいております。

基本的には、教育委員会、財務権限を持っておりませんので、全庁的な部分で今後、予算がつくように努力してまいりたいということで、補足させていただきたいと思います。

○議長（杉本信一君） 以上で、阿部議員の質問を終わります。

以上をもって、一般質問を終わります。

◎散会宣告

○議長（杉本信一君） 以上で、本日の日程は全部終了しました。

本日は、これをもって散会とします。

午前10時33分 散会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長 杉本 信一

署 名 議 員 阿部 君枝

署 名 議 員 佐藤 和徳